

2023年11月21日
日本船主協会 海務部・総務部

「海賊対処活動に対する感謝の集い」の開催について

当協会は、2023年11月21日（火）、海運ビルにおいて「海賊対処活動に対する感謝の集い」を4年ぶりに開催いたしました。当日は、防衛省、国土交通省、海上保安庁その他関係省庁および国会議員など、ソマリア沖・アデン湾での海賊対処活動にご尽力いただいている関係の皆さま総勢約370名にお集まりいただきました。

冒頭の明珍幸一会長の挨拶では、海賊対処法成立前の活動も含め、約900回の護衛活動と、日本関係船舶を含む約4,000隻もの商船の護衛に対する海賊対処活動に謝意を示し、「海賊対処活動および中東地域での情報収集活動」が1年延長されたことについても改めて感謝しているとし、引き続き、国際社会と連携した海賊対処活動の継続が必要である旨を伝えました。

来賓を代表して、宮澤博行防衛副大臣、國場幸之助国土交通副大臣、深澤陽一外務大臣政務官、中野英幸法務大臣政務官、吉田圭秀防衛省統合幕僚長、石井昌平海上保安庁長官からご挨拶をいただきました。

挨拶では、「これまで自衛隊の護衛活動においては日本商船隊に1隻の被害も発生させなかった。過酷な環境下でも高い緊張感をもって任務に当たる自衛官、海上保安官の努力の賜物」「ジブチに拠点があることの重要性の一つには自衛隊と海上保安官の連携が強化されたことがある」「海賊対処行動が始まった当初の企画に携わったが、隊員の無事を祈って護衛艦の出港を見送ったことが印象的であった」など、それぞれの想いと活動の重要性、派遣される隊員への感謝の言葉が述べられました。

ジブチ共和国イブラヒム・ビレ・ドゥアレ駐日特命全権大使からは、勇気と自己犠牲の精神を持って崇高な使命を達成する隊員への敬意が表されました。

衛藤征士郎海事振興連盟会長の乾杯のご発声により始まった歓談では、司会の2023年度ミス日本「海の日」稲川夏希さんによる、海賊対処活動任務を終えた自衛官、海上保安官および、池田前回ジブチ訪問団長へのインタビューで現場の声などを盛り込みつつ、本会は盛会のうちに終わりました。



会場の模様



お出迎え



明珍幸一当協会会長



宮澤博行防衛副大臣



國場幸之助国土交通副大臣



深澤陽一外務大臣政務官



中野英幸法務大臣政務官



吉田圭秀防衛省統合幕僚長



石井昌平海上保安庁長官



衛藤征士郎海事振興連盟会長



イブラヒム・ビレ・ドゥアレ
駐日特命全権大使



長澤仁志当協会副会長より
「焼酎ひゅうが」贈呈



衛藤海事振興連盟会長による乾杯



活動に関するインタビュー



歓談の様子